

## テクノポリスセンター地区新設小学校 グランドデザイン (案) について

## 1 新設小の学校教育目標及び目指す子供像

## (1) 学校教育目標設定の理由

**豊かなかかわりを生かして、よりよく生きる子供を育む**  
～よく学び よく遊び 自分をつくる 未来をつくる ○○小～

分離新設前の清原中央小学校においては、心豊かでたくましい子供の育成を目指して、子供たちが夢を共有しながら様々な活動を進める「夢いっぱいプロジェクト」を教育活動の中核として取組を進めてきた。また、校内研究においても「自分の考えをもち、豊かに表現する」ことを目指してきたところである。いずれにおいても、学校という集団の中で、自らの夢を明らかにし、自己肯定感を高めながら、自分らしさを発揮して学習活動を進めてきた。分離新設校においては、このような教育活動の継続性に鑑みるとともに、今後の社会状況を踏まえ「豊かなかかわりを生かして、よりよく生きる子供を育む」を学校教育目標とした。

## (2) 目指す子供像設定の理由

目指す子供像については、「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」の資質・能力との整合を図るとともに、これまで日本の学校において伝統的に重視されてきた「知・徳・体」を基本に据えながら「学ぶことを喜ぶ子供」「他と豊かに関わる子供」「自分を大切にすること」を設定することとした。

## 2 学校経営方針と目指す学校像

**未来に向かって、共に学びをつくる学校**  
○豊かなかかわりを生かして、自分の学びをつくる学校  
○子供の成長を願い、教職員一丸となって真摯に指導にあたる学校  
○地域とともに子供を育む学校

新設小が位置するゆいの杜地区は、明治中期には50戸ほどの小さな農村であったが、工場の誘致や新興住宅地開発、LRT建設予定の影響により、日本各地からの転入者が増え、人口が急激に増加しており、住民は、新旧住民や世代間のギャップ、価値観の違いなどを乗り越えてお互いを尊重しながら生活をしている状況にある。

このような中、学校教育においても、学校における友達はもとより、地域の方々など様々な人とのつながりの中で、豊かに関わりながら「自分の学び」「みんなの学び」を進められるようにしたい。このような教育活動を進めるためには、教職員は、心から子供たちの成長を願って一丸となり指導に当たれるようにするとともに、分離新設前と同様、家庭・地域と目指す子供像を共有しながら地域とともに子供を育てていく学校を創造していきたい。このため、学校経営方針を上記のとおりとした。

## 3 グランドデザインの特長

- ・ゆいの杜の由来でもある「かかわり・つながり」を生かした「学校教育目標」及び「学校経営方針」の設定
- ・令和2年度全面実施となる小学校新学習指導要領の内容との整合を図った上での「目指す子供像」の設定
- ・本市における「教科担任制」のモデル校として指定

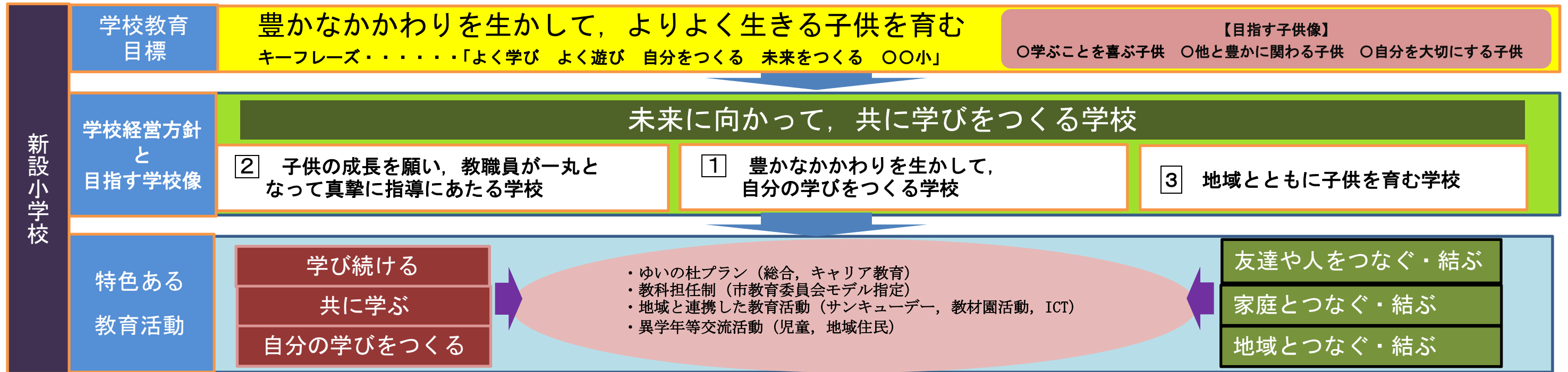
## 4 これまでの検討経過

- 令和元年10月～ 教育計画ワーキングにおける検討  
11月 清原中央小学校地域協議会における地域住民等からの意見聴取

## 5 今後のスケジュール

- 令和2年2月 清原地区新設小学校開校準備委員会委員会において提示  
令和2年3月～ グランドデザインを元に教育課程編成などの学校運営に係る検討  
令和3年4月～ 新設小学校に引継ぎ【グランドデザイン等の決定】

テクノポリスセンター地区新設小学校 学校経営 グランドデザインイメージ図（令和3年度～）【案】



今後の社会	市の理念・目標	清央小、地域学校園の伝統	地域の実態	子供の実態	地域・保護者の思いや願い
<p>・予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となる。</p> <p>・情報化、グローバル化が進展する中で社会の変化を前向きに受け止め、社会や人生を豊かなものにしていく。</p> <p><b>【必要となる資質・能力】</b></p> <p>□知識及び技能          □思考力・判断力・表現力等          □学びに向かう力・人間性等</p>	<p><b>誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校の中で、自信と志をもち、ともに支えながら未来を担う宮っ子を育む</b></p> <p>①成長するための基盤を培う          ②未来を生き抜く力を養う          ③多様な児童生徒の状況に応じた指導・支援を行う          ④信頼される教職員を育て、学校のチーム力を高める          ⑤地域とともにある学校づくりを進める          ⑥新しい時代にふさわしい教育環境を整える</p>	<p>○ 明治7年大乘寺を校舎にあて開校以来、約145年地域に根ざした小学校として歩んだ。</p> <p>○ 平成10年には、日本語指導の拠点校となり、多くの外国籍児童を受け入れた。</p> <p>○ 平成23年には、東日本大震災により校舎が被災し、4か月間、中学校校舎で授業を受けた。</p> <p>○ 仮設校舎より新校舎に引っ越しをして、落ち着いた環境のもと、学習や生活を進めた。</p> <p>○ 清原地域学校園では、キャリア教育を核としながら、平成22年度より小中一貫教育に取り組んだ。</p>	<p>○清原地区のニュータウンの区域で、近隣には清原工業団地や芳賀工業団地が隣接し、地区内には多くの住宅や商業施設などが建設されている。また、一部においては農業も行われている。</p> <p>○住む人が互いに協力し、助け合いながら発展する街の姿を「結い」とし、その結びつきが自然豊かな地区にあることから「ゆいの杜」と名付けられ、住居表示で正式に町名となった。</p> <p>○宅地化の進行により、自治会等、地域組織の再編が進んでいる。</p> <p>○地域に大規模の工場があるため、住民は会社員が多く、日本各地から移り住んできている。</p> <p>○住民や店舗の協力も期待できる地域である。</p> <p>○体育館や野球場、サッカー場などのスポーツ施設に恵まれ、地区においてマラソン大会なども開催されている。</p> <p>○2022年より公共交通機関としてのLRTが開通する予定である。</p>	<p>○多くの児童が学習は大切と考え、宿題や翌日の準備をきちんとしようとする。</p> <p>○学習課題の解決に向けて熱心に取り組む。</p> <p>○児童同士が協働して学び合える。</p> <p>○明るく素直で何事にもまじめに取り組む。</p> <p>○挨拶を進んで行き、友達に思いやりをもって関わる。</p> <p>○敏捷性や走力、持久力に優れている。</p> <p>○体育的行事に、目標をもち、積極的に取り組む。</p> <p>○帰国子女や外国籍の児童が多い。</p>	<p>[意見交換会より 2018. 12. 16]</p> <p>○人間性形成に重点を置く教育の推進</p> <p>○幼保小中が連携した学力向上</p> <p>○教科教育充実に向けた地域人材の活用</p> <p>○きめ細かな指導の実施（習熟度、特別支援教育等）</p> <p>○Wi-Fi環境など新しいシステム導入、タブレット型パソコンを使った授業の推進</p> <p>○様々な活動の拠点となる学校の具現化</p>

